

IV-1. 償却資産申告書の記載例

第二十六号様式

令和 年 月 日 受付印 茂原市長様		令和 6 年度 償却資産申告書(償却資産課税台帳)		※所有者コード 987654-1	
1 住所 (ふりがな) 又は納税通知書送達先	5 初めて申告する方：法人の場合は登記上の本店住所を、個人の場合は住民票上の住所を記載してください。印字の住所とは別の送付先を希望の場合は、記載住所の下に「送付先：〇〇市〇〇番地」と記入してください。			3 個人番号又は法人番号	6
	2 氏名 (ふりがな) 法人にあってはその名称及び代表者の氏名	株式会社 モバライナーナショナル 代表取締役 茂原 一郎 (屋号)			4 事業種目(資本等の金額)
			5 事業開始年月	8 S44 年 12 月	
			6 この申告に回答する者の係及び氏名	9 経理課 茂原 二郎 (電話 00-0000)	
			7 税理士等の氏名	10 道表花子税理士事務所 (電話 00-0000)	
8 短縮耐用年数の承認		有・無		9 増加償却の届出	
9 増加償却の届出		有・無		10 非課税該当資産	
10 非課税該当資産		有・無		11 課税標準の特例	
11 課税標準の特例		有・無		12 特別償却又は圧縮記載	
12 特別償却又は圧縮記載		有・無		13 税務会計上の償却方法	
13 税務会計上の償却方法		定率法 定額法		14 青色申告	
14 青色申告		有・無		10 資産の所在地が事業所住所と異なる場合、または、複数箇所所在する場合は必ず記載してください。	
15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地		10 ① 茂原〇〇番地 ② 道表〇〇番地 ③		11 借入資産の有無について該当するものを〇で囲んでください。なお、借入資産がある場合は貸主の名称等を記載してください。	
16 借入資産		11 (有)・(無)		貸主の名称等 道表リース 株式会社	
17 事業所用家屋の所有区分		12 自己所有・借家		12 該当するものを〇で囲んでください。	
18 備考(添付書類等)		13		[18 備考] 欄には、次の事項を記載してください。 A 申告する資産がない場合は「該当資産なし」、資産の増減がない場合は「増減なし」等 B 前年中に所有者の住所・氏名または名称等に異動があった場合は異動年月日及び旧住所・旧氏名 C 納税管理人を定めている場合は、その者の住所・氏名 D 「短縮耐用年数承認書」、「増加償却の届出書」等、添付書類の名称 E その他参考となるべき事項 F 特例資産がある場合は、該当する法令(ご不明の場合は、お問い合わせください。) G 廃業・解散・移転された場合は、その旨	
資産の種類		取得価額		評価額	
		前年までに取得したもの(イ)		前年中に減少したもの(ロ)	
		前年中に取得したもの(ハ)		計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)	
1 構築物	十億 百万 千 円	3 022 760	十億 百万 千 円	1 600 000	十億 百万 千 円
2 機械及び装置		200 000		4 300 000	4 500 000
3 船舶					
4 航空機		①		②	③
5 車両及び運搬具					
6 工具、器具及び備品		653 000		500 000	1 153 000
7 合計		3 875 760		1 600 000	5 800 000
資産の種類		評価額(ホ)		※ 決定価格(ヘ)	
		十億 百万 千 円		十億 百万 千 円	
1 構築物					
2 機械及び装置				④	
3 船舶					
4 航空機	電子申告の方は、令和6年1月1日現在の評価額(ホ)、決定価格(ヘ)、課税標準額(ト)を記入してください。				
5 車両及び運搬具	※ 電子申告の方以外は記入不要です。				
6 工具、器具及び備品					
7 合計					

※印の欄は記載の必要はありません。

IV-2. 種類別明細書(増加資産・全資産用)の記載例

① 前年までに申告された資産は、種類別、コード順に記載されています。(電算申告の場合を除きます。)

② 初めて申告する方などで種類別明細書に資産コードがプリントされていない方は、種類ごとに0001から左詰めで記入してください。

③ 前年中に減少資産がある場合は、該当する資産の欄に赤線を引き、摘要欄に「廃棄」もしくは「減少」とお書きください。

④ 明細書の記載に誤りがある場合、赤線を引いて訂正し、下の空いている欄に正しく記入してください。

⑤ 種類別明細書にプリントしてある資産コードの続きの番号を種類ごとに左詰めで記入してください。(記載例では、資産種類1の最後の資産コードが0017なので、0018と記入します。)

⑥ 資産の名称は、必ずカタカナ・英字・数字(濁音・半濁音は一文字)で20マス以内(長いものは簡略化)に収めて記入してください。

令和6年度															
※所有者コード※		種類別明細書(増加資産・全資産用)										所有者名		枚のうち	
987654-1		(茂原市) ⑦ ⑧ ⑨ ⑩										㈱ モバロインターナショナル		1 枚目	
行番号	資産の種類	① 資産コード	⑥ 資産の名称等	数量	取得年月			(イ) 取得価額	耐用年数	減価残存率	(ハ) 価額	※課税標準の特例率	※課税標準額	⑪ 増加理由	摘要
					年号	年	月								
01	1	0001	② テンショウコウジ	1	H	9	6	301,970	0.6	0.681	15,098		15,098	1.2 3.4	
02	1	0002	ユカコウジ	3	H	12	8	219,000	0.5	0.631	10,950		10,950	1.2 3.4	
03	1	0003	カベコウジ	1	H	6	3	400,000	1.0	0.794	20,000		20,000	1.2 3.4	
04	1	0006	③ カンイマシキリ	1	H	15	3	1,600,000	0.6	0.681	80,000		80,000	1.2 3.4	廃棄
05	1	0016	カベコウジ	1	H	9	6	301,790	0.6	0.681	15,089		15,089	1.2 3.4	
06	1	0017	④ カンイマシキリ	1	H	10	3	220,417	1.5	0.858	13,000		13,000	1.2 3.4	価額修正
07	2	0001	フレスキ	1	H	20	3	200,000	0.4	0.562	10,000		10,000	1.2 3.4	
08	6	0001	オウセツセット	1	H	14	8	653,000	0.8	0.750	32,650		32,650	1.2 3.4	
09														1.2 3.4	
10	1	0017	④ カンイマシキリ	1	H	16	3	200,000	1.5					1.2 3.4	
11	1	0018	⑤ カイコウコウジ	1	R	5	5	1,000,000	1.5					①.2 ③.4	⑫
12	2	0002	⑤ タイヨウコウハツテンセツヒ	1	R	5	8	4,300,000	1.7					①.2 ③.4	特例資産
13	6	0002	⑤ ハソコ	1	R	5	6	500,000	0.4					①.2 ③.4	
14														1.2 3.4	
15														1.2 3.4	
16														1.2 3.4	
17														1.2 3.4	
18														1.2 3.4	
小計				⑧ 11				⑨ 3,996,177 8,075,760							

注意 「増加理由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○をつけてください。 ※印の欄は記載の必要はありません。

⑪ 表の下部(注意)を参考に、該当する番号を○で囲んでください。

⑫ 課税標準の特例の適用を受ける資産については、摘要欄に「特例資産」と記載してください。また、申告書の備考などに、該当する法令を記入してください。

移設により増加した資産がある場合には、移設前の市(区)町村名を記載してください。

割賦販売等により売主が所有権を留保している資産については、売主の名称等を記載してください。

その他、特記すべき事項がある場合には、その旨記載してください。

⑦ 資産の数量、個数または台数を記載してください。

⑧ 資産を取得した年月を記入してください。年号の欄は、昭和は(S)、平成は(H)、令和は(R)と記入してください。

⑨ 当該資産の取得価格を記載してください。 ※取得価格とは償却資産を取得するために支出した金額又は支出すべき金額(付帯費を含む)です。

⑩ 耐用年数省令または国税局長が認めた耐用年数を記入してください。